

受 験 番 号					

氏 名	

2023年度  
放送大学大学院修士課程  
文化科学研究科 文化科学専攻  
**社会経営科学プログラム**  
筆記試験問題

試験日：2022年10月1日（土）

試験時間：9時30分～11時30分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この試験問題冊子は開かないでください。
2. 解答には、黒鉛筆かシャープペンシルを使用してください。
3. 配付されるものは、「試験問題冊子1冊」、「解答用紙5枚」及び「下書き用紙5枚」です。追加配付はしません。
4. 試験開始の合図の後、試験問題冊子を確認してください。試験問題冊子は、表紙、白紙、問題（4ページ）の順に綴じられています。試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙に落丁・過不足のある場合、あるいは印刷が不鮮明な場合には、手を挙げて試験監督員の指示に従ってください。
5. 試験問題冊子の所定欄に、受験番号及び氏名を記入してください。
6. 解答用紙は、「大問題（試験問題冊子に第1問、第2問…と表示されています。）」ごとに使用し、解答用紙の所定欄に、プログラム名、氏名、受験番号並びに「大問題」番号及び「大問題」ごとに何枚目であるかを、解答用紙別に必ず記入してください。  
小問題及び選択問題を解答する際の番号等は、解答用紙のマス目の左側の「小問題番号等記入スペース」に記入してください。  
なお、問題文中に別途記入方法の指示がある場合はそちらに従ってください。
7. 解答用紙1枚につき、800字まで記入することができます。解答用紙5枚のうち、社会経営科学プログラムは3枚以内で解答してください。指定された字数に従って解答してください。
8. 試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙を綴じているホチキス針をはずしたり、中身を破り取ったりしてはいけません。
9. 試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙は試験終了後に回収します。試験問題冊子及び下書き用紙に解答を記入しても採点の対象にはなりませんので、必ず解答用紙に解答を記入してください。
10. 試験時間は2時間です。試験開始後40分を経過した後は、試験問題冊子、解答用紙及び下書き用紙を試験監督員に提出した上で、退室してもかまいません。ただし、試験終了5分前以降は退室できません。

社会経営科学プログラム 筆記試験問題

第1問と第2問の両方に解答しなさい。なお、第1問と第2問の解答にはそれぞれ別の解答用紙を使用し、解答用紙の所定欄に問題番号を記入すること。

第1問 「勢力均衡」に関する以下の文章を読み、その内容を日本語で要約しなさい。(600字以内)

(この部分につきましては、著作権の関係で公開できません。)

(この部分につきましては、著作権の関係で  
公開できません。)

(出典：‘BALANCE OF POWER’, Lisa Harrison, Adrian Little and Edward Lock, *Politics: The Key Concepts*, Oxford: Routledge, 2015, pp.11-13.引用にあたり一部を省略した。)

第2問 以下に列挙する(1)～(8)の分野のうち、研究指導を希望する分野を一つ選んで、その分野の問題に解答しなさい。なお、選択した問題番号を解答用紙の「小問題番号等記入スペース」に明記すること。

(1) [政治学分野]

次の①, ②から一つ選び、解答しなさい。(800字以内)

①政治的正統性 (Political Legitimacy) について定義し、それを国内政治と国際政治の両方のレベルで論じなさい。

②近代日本における戦争と天皇の関係について論じなさい。

(2) [法学分野]

次の①, ②から一つ選び、解答しなさい。

①A会社ビルの看板が落下し、付近を通行中のBが重傷を負い、通行人CがタクシーでBをD病院に運んだ。Bは治療のかいもなく、間もなく死亡し、あとに妻Eが残された。以下の間について、法的根拠を示して論じなさい。(全体で800字以内)

なお、各設問は独立したものである。

問 (a) Cがタクシー料金および汚れてしまった自身の衣服のクリーニング料金を支出した場合におけるその費用ならびにD病院の治療代に関し、CおよびDは、それぞれ誰に対してどのような請求をすることができるか。

問 (b) Eは、A会社に対してどのような請求をすることができるか。

②経済安全保障が知的財産制度へ及ぼす影響について説明しなさい。(800字以内)

(3) [国際関係分野]

冷戦 (The Cold War) の終結について、その定義に留意しながら説明しなさい。(800字以内)

(4) [建築分野]

日本における近代建築ならびに現代建築は、有名無名を問わず竣工後30～50年で取り壊されることが多く、他の国のそれらと比較すると非常に短命である。持続可能な社会を目指すなか、その原因を今考えなければならない。社会的、歴史的、風土的、思想的な観点を踏まえながら日本の近、現代建築の寿命が短い理由を説明しなさい。(800字以内)



(5) [環境分野]

以下に示す事柄について、①については200字以内で、②から⑤については150字以内で概要を説明しなさい。

- ①SDGs
- ②プラスチック資源循環促進法
- ③石炭火力発電
- ④電気自動車 (EV)
- ⑤トリチウム

(6) [経済学分野]

需要独占状態と完全競争状態では、価格・需給量にどのような違いが現れるか。理由とともに説明しなさい。説明に当たっては、価格と需給量を表す図を用いても良い。

次に、双方独占状態ではどのようなことが起きると考えられるか。それに相当する事例を日本経済から引きつつ、説明しなさい。(全体で800字以内。図は文字数にカウントしない)

(7) [社会・コミュニティ分野]

次に挙げる社会学用語①～④についてそれぞれ説明しなさい。(全体で800字以内)

- ①準抛集団
- ②社会移動
- ③社会的構築主義 (social constructionism)
- ④推移地帯 (zone in transition)

(8) [経営学分野]

次の①～③から一つ選び、解答しなさい。(800字以内)

- ①リモートワークが著しく進展してきた。その経営上の利点と課題について論じなさい。
- ②日本企業のコーポレート・ガバナンスの視点から見た指名委員会等設置会社のメリット・デメリットについて論じなさい。
- ③生産活動における品質とコストの関係について論じなさい。

以上